

関東鉄工

適 用 範 囲		モ デ ル 名		KV25CS-2
		適 用 号 機		KV25C-30001～
		車体質量(空車状態) kg		2430
区分	検 査 箇 所	運用項目 ※測定条件、方法	単 位	検 査 基 準 値
エ ン ジ ン	エンジン本体	回転速度ハイアイドルリング ローアイドルリング (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ min-1 ℃ ℃	2400 ^{±50} 1350 ^{±50} (70 ～ 80) (60 ～ 70)
		潤滑油圧 (油 温) (回転速度)	kPa (kgf/cm ²) ℃ min ⁻¹	197 ～ 441 (2.0 ～ 4.5) (85 ～ 90) (2400)
		弁すき間 吸気弁 排気弁 (測定時の条件)	mm mm	0.145 ～ 0.185 0.145 ～ 0.185 (冷間時)
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	kPa (kgf/cm ²) ℃ min-1	3730 ～ 4110 (38 ～ 42) (暖機後) (200)
		最高走行速度 (測定方法・条件)	km/h	12 (平地走行)
油 圧 ・ 走 行 装 置	油圧ポンプ	ポンプ吐出量 ポンプ吐出圧 (油 温)	L/min Mpa ℃	76.32 35 (60 ～ 70)
		ミッション潤滑油圧	kPa (kgf/cm ²)	— (ー)
	クラッチ又は トランスミッショ ン油圧	クラッチ油圧	kPa (kgf/cm ²)	— (ー)
		ミッション油量 エンジン回転速度	℃ min-1	— —
		シャフトカップリング ボルト締め付けトルク	N・m (kgf・m)	— (ー)
	プロペラシャフト 又はドライブ チェーン	チェーンたるみ量 チェーン押し付け力	mm N (kgf)	— — (ー)
		HST側ミッション	MPa (kgf/cm ²)	34.5 (352)
	ホイール又は タイヤ	油圧回路のリリーフセット圧 油 温	℃ ℃	50 ^{±5}
		ホイールクリップナット 締め付けトルク	N・m (kgf・m)	157 (16)

振動ローラ(タンデム)

適 用 範 囲		最 大 荷 重 t		2.7
		型 式		KV25CS-2
		適 用 号 機		KV25C-30001～
区分	検 査 箇 所	運用項目 ※測定条件、方法	単 位	検 査 基 準 値
操 向 装 置	最小旋回半径	最小旋回半径又は最大切り角度	m 度	4.0 —
	パワーステアリン グ装置	油圧回路のリリーフセット圧力 油温	MPa (kgf/cm ²) ℃	15.5 (158) 50 ^{±5}
制 動 装 置	走行ブレーキ	HSTネガティブブレーキの場合は その旨を表示		HSTネガティブブレーキ (駐車ブレーキ兼用)
		ペダル遊びのストローク	mm	20
		踏み込みストローク又は踏み込み角度	mm 度	65 —
		制動能力(制動距離：以内) 制動初速度	m km/h	3 (12)
		[ドラム式] ドラムとライニングのすき間 ドラムの内径 ライニングの厚さ バックプレート取付けナット締 付トルク	mm mm mm N・m (kgf・m)	— — — — (ー)
		[ディスク式] ディスクの厚さ パッドの厚さ ディスク取付ナット締付トルク	mm mm N・m (kgf・m)	— — — (ー)
		制動能力(停止状態保持角度) レバー操作式、スイッチ操作式は その旨を表示 レバーストローク ドラムとライニングのすき間	度 mm mm	11.3 (スイッチ式) — —
	駐車ブレーキ			
作 業 装 置	防振ゴム	取付けボルト締め付けトルク	N・m (kgf・m)	157 (16)
	起振装置	油圧回路リリーフセット圧 油 温	MPa (kgf/cm ²) ℃	17.5 (178) 50 ^{±5}
特 記 事 項			機械形式	コンバインド型 振動ローラ
			エンジン形式	クボタ D1305-K3A

注) 数値は新車基準値を示す